

研究テーマ ●地域の経済成長と財政活動

法文学部・経済情報学科・経済学専攻

准教授 林 亮輔

<http://kuris.cc.kagoshima-u.ac.jp/614682.html>

研究の背景および目的

グローバル化の進展、少子高齢化の進行、東京一極集中など、地域が今まさに直面しているこれらの環境変化は、地域経済のパフォーマンスを弱体化させるとともに、地方の財政状況を悪化させます。そして、ひとたび地域の経済力・財政力が減退すると、企業や人口のさらなる流出を招くという「負の連鎖」を招くこととなります。このような状況のもと、地域経済・地方財政を再生させるためには、どのような対策を講じれば良いのでしょうか？

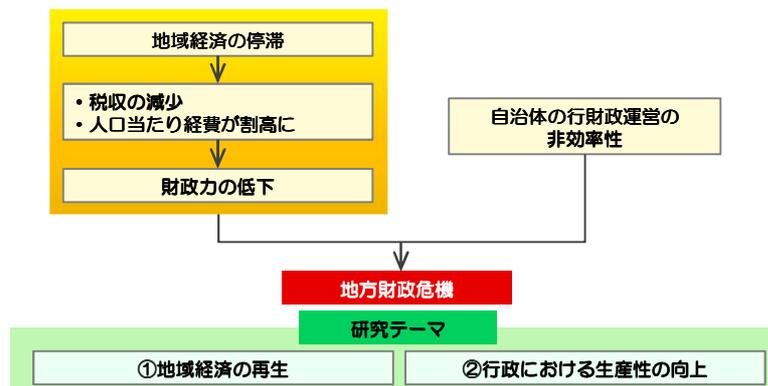
■おもな研究内容

1. 地域経済の再生を目的とした国及び自治体の活動はいかにあるべきか。

人口減少が進行する中で、地域経済のパフォーマンスを最大化できる地域空間構造（企業や商業施設などの立地分布）を検証するとともに、道路や空港などの社会資本整備が地域経済に及ぼす影響について研究を行っています。国や自治体の都市計画・地域計画を検証し、支援する研究テーマです。

2. 行政運営の効率化をいかに推し進めていくべきか。

地方財政の歳出総額において最大のウェイトを占める「人件費」について考察するとともに、公営バス事業や空港事業などの効率性に関する分析を行っています。具体的には、各自治体・事業体が置かれている様々な条件を考慮した独自の指標を算出し、人件費や各事業における経費の最適な削減目標を定めることを可能にします。



期待される効果・応用分野

1. 自立的発展の方向性…これまでの地域活性化策は国主導で行われていたため、地域にはそのノウハウが不足しています。本研究は地方分権時代にふさわしい、地域の自立的発展への方向性を提示します。地域主体で都市計画や活性化策を策定する際のシステムづくりを支援します。
2. 財政再建の方向性…厳しい財政状況にある地方財政再生への方向性を提示します。最適な目標に沿って運営の効率化を進めることで、民営化だけに頼らない行政の生産性向上を支援します。

■共同研究・特許などアピールポイント

●地域はそれぞれ固有の問題を抱えており、地域経済停滞の要因は1つではありません。地域が抱えている問題を調査・検証し、地域の実情に合わせた政策を提案します。

🗨️ コーディネーターから一言

地域経済再生のための施策と行政の効率化を支援する研究です。地域に入り込み一緒に議論しながら、実情に合った政策を提言したいと考えています。様々な立場で地域活性に取り組む方からのご相談をお待ちしています。

研究分野

財政、地域政策

キーワード

集積の利益、公共投資、自治体・公営企業の効率性